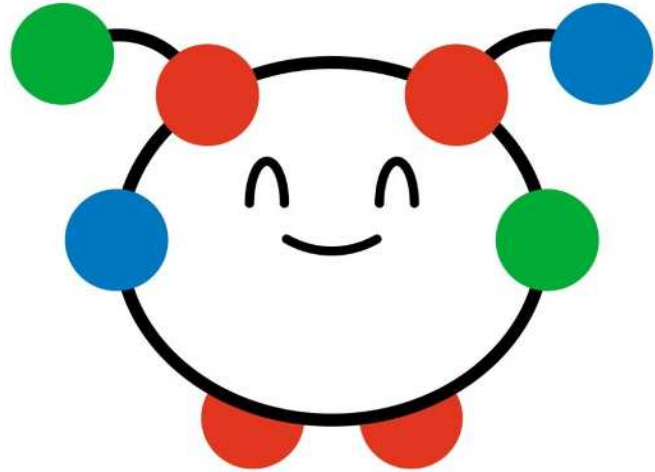


# お知らせします！ 基金の使い道！！

(令和2年度末)



富山県南砺市

# 1. 基金の状況

令和2年度末における基金設置数は23基金で、基金残高は下表のとおりとなっています。（264億6,070万円）

（単位：円）

基金名		設置目的	R2末残高
01_財政調整基金	(積立)	市財政の健全な運営を図るため	3,447,850,844
02_減債基金	(積立)	市債の償還に必要な財源を確保するとともに、将来にわたる市財政の健全な運営を図るため	6,076,763,943
03_施設等整備基金	(積立)	市の施設等の整備を計画的に実施するため (道路整備5箇年計画等)	1,918,819,969
04_国際交流基金	(積立)	市民の国際交流事業の推進を図るため	85,895,436
05_社会福祉基金	(積立)	市民の福祉の増進をはかるため	1,358,114,851
06_環境保全基金	(積立)	地域住民が共同して行う土地改良施設等の地域資源の保全及び活用に係る事業を推進することで、農村地域の良好で快適な環境の創造を図るため	67,269,264
07_合併地域振興基金	(積立)	8町村の合併に伴い誕生した本市住民の一体感の醸成、発展あるまちづくり及び元気な地域づくりを推進するため	3,298,914,196
08_クレー射撃場施設管理基金	(積立)	クレー射撃場施設の維持管理費に充てるため	16,119,384
09_東日本大震災支援基金	(積立)	東日本大震災の被災地及び被災者の支援を図るため	506,786
10_過疎地域自立促進基金	(積立)	過疎地域自立促進特別事業に要する経費に充てるため（産業振興、交通通信、厚生、教育文化、その他）	397,876,284
11_すこやか子育て基金	(積立)	次代を担う子どもたちの健やかな成長を図り、結婚、妊娠、出産、子育て及び教育まで切れ目のないサービスを提供できる環境づくりを図るため	1,570,200,388
12_地方創生推進基金	(積立)	南砺幸せなまちづくり創生総合戦略に係る事業の継続的な推進を図るため	1,363,549,756
13_公共施設再編基金	(積立)	公共施設再編計画の着実な実行を図るため	2,600,000,000
14_Uターン就職奨学基金	(積立)	奨学資金の貸与を受けた者の返済額を助成し、Uターン就職及び市内での定住の推進を図るため	18,958,000
15_商工観光振興基金	(積立)	地域の商工業の振興及び観光事業の推進に資するため	474,760,405
16_こども未来創造基金	(積立)	児童・生徒の多様な学びの機会を提供し、魅力あふれる人材育成の推進に資するため	772,476,403
17_森林環境譲与税基金	(積立)	森林の整備や、それを担う人材の育成・確保などの施策に要する費用に充てるため	33,449,796
18_新型コロナウイルス感染症対策基金	(積立)	新型コロナウイルス感染症に対する感染拡大防止、地域経済及び市民生活の維持等に要する費用に充てるため	408,130,000

(単位：円)

基金名	設置目的	R2末残高
19_国民健康保険事業財政調整基金 (積立)	国民健康保険事業の健全な財政運営を図るため	810,411,316
20_訪問看護事業財政調整基金 (積立)	訪問看護事業の健全な財政運営を図るため	194,812,257
21_奨学基金 (定額)	奨学金に関する事務を円滑かつ効果的に行うため	192,569,285
22_土地開発基金 (定額)	公用もしくは公共用に利用する土地又は公共の利益のために取得する必要がある土地をあらかじめ取得することで、公共事業の円滑な執行を図るため	1,299,152,488
23_美術品取得基金 (定額)	美術品の取得に要する経費に充てるため	54,097,513
合計		26,460,698,564

- ※1 (積立)：特定の目的のために積み立てられた基金で、基金の運用から生じる収益も含めて、特定事業の財源として活用(取崩し)できるもの。積立基金。
- ※2 (定額)：特定の目的のため定額の資金を運用する目的で積み立てられた基金で、歳入歳出予算に計上することなく、直接、基金で土地や美術品を購入したり、資金を貸し付けするもの。定額運用基金。
- ※3 出納整理期間中の積立及び取崩しを反映しているため、南砺市歳入歳出決算書に記載する財産に関する調書の数値とは一致しません。

## 2. 基金の活用状況と残高の推移

令和2年度に基金を使って行った事業を紹介します。

※表示単位の端数処理（四捨五入）により、合計等が一致しない場合があります。

また、表示単位未満の数値があるときは「0」、数値がないときは「-」とします。

### 01\_財政調整基金

（担当：財政課）

令和2年度は、補正予算に要する経費に充てるため1億8,071万円を取り崩しました。また、後年度の財源調整のため、決算剰余金1億4,631万円と基金の運用によって得られた収益991万円の合計額1億5,622万円を積み立てました。

#### <基金残高の推移>

	H28	H29	H30	R1	R2
前年度末残高	60億1906万円	59億3,768万円	30億8,154万円	34億7,966万円	34億7,234万円
当該年度積立額	3,230万円	1,676万円	3億9,812万円	963万円	1億5,622万円
当該年度取崩額	1億1,368万円	28億7,290万円	-万円	1,695万円	1億8,071万円
当該年度残高	59億3,768万円	30億8,154万円	34億7,966万円	34億7,234万円	34億4,785万円

（注）財政調整基金の残高は、標準財政規模（全国どこでも同じ水準の行政サービスを提供するために必要な一般財源のこと。令和2年度は217億4,257万円）の10%から15%程度となるように努めることとしています。

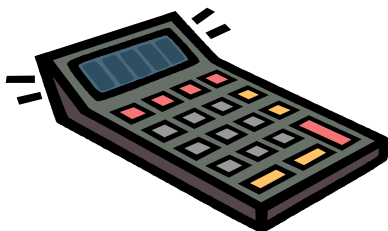
### 02\_減債基金

（担当：財政課）

令和2年度は、公債費（借金の返済）負担の平準化を図るために、当初予算にて5億2,400万円を取り崩しましたが、年度末に全額戻入れを行いました。結果、取崩しは行わず、基金運用益1,678万円を基金に積み立てました。

#### <基金残高の推移>

	H28	H29	H30	R1	R2
前年度末残高	65億4,187万円	65億7,697万円	61億 515万円	58億4,382万円	60億5,998万円
当該年度積立額	3,510万円	2,517万円	2,167万円	21億6,166万円	1,678万円
当該年度取崩額	-万円	4億9,700万円	2億8,300万円	-万円	-万円
当該年度残高	65億7,697万円	61億 515万円	58億4,382万円	60億5,998万円	60億7,676万円



## 03\_施設等整備基金

(担当：財政課)

令和2年度は、道路整備5箇年計画（H30-R4）に基づく市道整備事業の財源として5,730万円を取り崩し、充当しました。

また、基金の運用から得られた収益546万円を基金に積み立てました。

### <基金残高の推移>

	H28	H29	H30	R1	R2
前年度末残高	17億 581万円	16億5,836万円	21億 951万円	20億1,319万円	19億7,066万円
当該年度積立額	915万円	5億4,435万円	949万円	557万円	546万円
当該年度取崩額	5,660万円	9,320万円	1億 580万円	4,810万円	5,730万円
当該年度残高	16億5,836万円	21億 951万円	20億1,319万円	19億7,066万円	19億1,882万円

## 04\_国際交流基金

(担当：交流観光まちづくり課)

令和2年度は、南砺市国際交流協会の実施する事業に必要な補助金の財源として445万円を取り崩し、充当しました。

また、決算剰余金1,500万円と基金の運用によって得られた収益21万円の合計額1,521万円を基金に積み立てました。

### <基金残高の推移>

	H28	H29	H30	R1	R2
前年度末残高	1億2,040万円	1億 851万円	9,738万円	8,568万円	7,514万円
当該年度積立額	56万円	42万円	35万円	24万円	1,521万円
当該年度取崩額	1,245万円	1,155万円	1,205万円	1,078万円	445万円
当該年度残高	1億 851万円	9,738万円	8,568万円	7,514万円	8,590万円

## 05\_社会福祉基金

(担当：財政課)

令和2年度は、高齢者福祉施設の修繕事業の財源として230万円を取り崩し、充当しました。基金の運用から得られた収益367万円は、基金への積み立ては行わず、社会福祉法人南砺市社会福祉協議会が実施する事業に対する補助金の財源に充当しました。

また、決算剰余金3,500万円を基金に積み立てました。

### <基金残高の推移>

	H28	H29	H30	R1	R2
前年度末残高	13億6,501万円	13億6,501万円	13億6,501万円	13億6,291万円	13億2,541万円
当該年度積立額	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	3,500万円
当該年度取崩額	- 万円	- 万円	210万円	3,750万円	230万円
当該年度残高	13億6,501万円	13億6,501万円	13億6,291万円	13億2,541万円	13億5,811万円

## 06\_環境保全基金

令和2年度は、基金の運用によって得られた収益19万円を基金には積み立てず、市単独土地改良事業補助金の財源として充当しました。

### <基金残高の推移>

	H28	H29	H30	R1	R2
前年度末残高	6,727万円	6,727万円	6,727万円	6,727万円	6,727万円
当該年度積立額	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円
当該年度取崩額	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円
当該年度残高	6,727万円	6,727万円	6,727万円	6,727万円	6,727万円

## 07\_合併地域振興基金

(担当：財政課)

令和2年度は、統合庁舎整備事業の財源として9,120万円を取り崩し、充当しました。また、基金の運用から得られた収益627万円を基金に積み立てました。

### <基金残高の推移>

	H28	H29	H30	R1	R2
前年度末残高	39億 29万円	39億 29万円	39億 29万円	39億 29万円	33億8,384万円
当該年度積立額	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	627万円
当該年度取崩額	- 万円	- 万円	- 万円	5億1,645万円	9,120万円
当該年度残高	39億 29万円	39億 29万円	39億 29万円	33億8,384万円	32億9,891万円

## 08\_クレー射撃場施設管理基金

(担当：生涯学習スポーツ課)

令和2年度は、基金の運用から得られた収益5万円を基金に積み立てました。

### <基金残高の推移>

	H28	H29	H30	R1	R2
前年度末残高	2,602万円	2,279万円	1,817万円	1,697万円	1,607万円
当該年度積立額	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	5万円
当該年度取崩額	322万円	462万円	120万円	90万円	- 万円
当該年度残高	2,279万円	1,817万円	1,697万円	1,607万円	1,612万円

## 09\_東日本大震災支援基金

(担当：財政課)

令和2年度は、市民の皆様からいただいたご寄附5万円と基金の運用から得られた収益（1,261円）を基金に積み立てました。

### <基金残高の推移>

	H28	H29	H30	R1	R2
前年度末残高	374万円	119万円	82万円	32万円	46万円
当該年度積立額	25万円	20万円	10万円	23万円	5万円
当該年度取崩額	279万円	57万円	60万円	10万円	-万円
当該年度残高	119万円	82万円	32万円	46万円	51万円

## 10\_過疎地域自立促進基金

(担当：財政課)

令和2年度は、定住推進事業や空き家対策に要する事業の財源として8,110万円を取り崩し、充当しました。

また、引き続き、過疎地域の活性化を図る事業の財源として1億5,040万円、基金の運用から得られた収益91万円の合計額1億5,131万円を基金に積み立てました。

### <基金残高の推移>

	H28	H29	H30	R1	R2
前年度末残高	1億8,378万円	2億6,277万円	3億2,087万円	3億8,181万円	3億2,767万円
当該年度積立額	1億1,059万円	9,441万円	1億4万円	1億526万円	1億5,131万円
当該年度取崩額	3,160万円	3,630万円	3,910万円	1億5,940万円	8,110万円
当該年度残高	2億6,277万円	3億2,087万円	3億8,181万円	3億2,767万円	3億9,788万円

## 11\_すこやか子育て基金

(担当：財政課)

令和2年度は、保育料軽減事業、こども妊産婦医療費助成事業、不妊治療費助成事業等の財源として、1億1,800万円を取り崩し、充当しました。また、決算剰余金1億5,000万円と基金運用益425万円の合計額1億5,425万円を基金に積み立てました。

### 【主な事業と充当額】

・保育園費（保育料軽減事業、臨時保育士処遇改善分）	6,810万円
・こども妊産婦医療費給付費（医療費助成）	3,770万円
・すこやか親子支援事業費（出産支援交通費助成事業、不妊治療助成事業）	960万円
・施設型給付等支援費（保育料軽減事業）	260万円

### <基金残高の推移>

	H28	H29	H30	R1	R2
前年度末残高	10億206万円	10億2,704万円	17億1,039万円	15億1,566万円	15億3,395万円
当該年度積立額	2億1,238万円	8億8,665万円	607万円	2億419万円	1億5,425万円
当該年度取崩額	1億8,740万円	2億330万円	2億80万円	1億8,590万円	1億1,800万円
当該年度残高	10億2,704万円	17億1,039万円	15億1,566万円	15億3,395万円	15億7,020万円

## 12\_地方創生推進基金

(担当：政策推進課)

令和2年度は、南砺幸せなまちづくり創生総合戦略事業（平成27年度～令和元年度）の繰越事業分の財源として350万円を取り崩し、充当しました。

また、第2次南砺市総合計画の達成に向けて実施する主要事業の財源として活用していくため、決算剰余金5億円と基金運用益238万円に寄附金500万円を加えた合計額5億738万円を基金に積み立てました。

### <基金残高の推移>

	H28	H29	H30	R1	R2
前年度末残高	10億2,000万円	10億60万円	7億3,601万円	4億5,182万円	8億5,967万円
当該年度積立額	-万円	381万円	261万円	8億125万円	5億738万円
当該年度取崩額	1,940万円	2億6,840万円	2億8,680万円	3億9,340万円	350万円
当該年度残高	10億60万円	7億3,601万円	4億5,182万円	8億5,967万円	13億6,355万円

## 13\_公共施設再編基金

(担当：財政課)

令和2年度は、基金の運用によって得られた収益720万円を基金には積み立てず、保育園及び小中学校の維持管理経費（光熱水費）に充当しました。

### <基金残高の推移>

	H28	H29	H30	R1	R2
前年度末残高	5億2,000万円	10億4,000万円	26億円	26億円	26億円
当該年度積立額	5億2,000万円	15億6,000万円	-万円	-万円	-万円
当該年度取崩額	-万円	-万円	-万円	-万円	-万円
当該年度残高	10億4,000万円	26億円	26億円	26億円	26億円

## 14\_Uターン就職奨学基金

(担当：教育総務課)

令和2年度は、奨学金の貸与者であって市内に就職された方を対象に、奨学金返還額相当額を助成する事業の財源として190万円を取り崩しました。また、基金の運用によって得られた収益6万円は、基金には積み立てず、事務局運営費の財源として充当しました。

### <基金残高の推移>

	H28	H29	H30	R1	R2
前年度末残高	-万円	576万円	1,072万円	2,282万円	2,086万円
当該年度積立額	600万円	600万円	1,357万円	-万円	-万円
当該年度取崩額	24万円	104万円	146万円	196万円	190万円
当該年度残高	576万円	1,072万円	2,282万円	2,086万円	1,896万円



## 15\_商工観光振興基金

(担当：財政課)

令和2年度は、地域の商工業の振興及び観光事業を推進するための財源として2,640万円を取崩し、充当しました。

また、決算剰余金5,000万円と基金運用益125万円の合計額5,125万円を基金に積み立てました。

### <基金残高の推移>

	H28	H29	H30	R1	R2
前年度末残高	- 万円	- 万円	- 万円	3億9,881万円	4億4,991万円
当該年度積立額	- 万円	- 万円	3億9,881万円	5,110万円	5,125万円
当該年度取崩額	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	2,640万円
当該年度残高	- 万円	- 万円	3億9,881万円	4億4,991万円	4億7,476万円

※平成30年度に果実運用基金であった「産業振興基金」を新たな積立基金「商工観光振興基金」へと積み替えました。

## 16\_こども未来創造基金

(担当：財政課)

令和2年度は、GIGAスクール構想などICT教育機器の整備・更新等に要する経費の財源として2,970万円を取崩し、充当しました。

また、決算剰余金5,000万円と基金運用益208万円の合計額5,208万円を基金に積み立てました。

### <基金残高の推移>

	H28	H29	H30	R1	R2
前年度末残高	- 万円	- 万円	- 万円	4億4,886万円	7億5,010万円
当該年度積立額	- 万円	- 万円	4億4,886万円	3億 124万円	5,208万円
当該年度取崩額	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	2,970万円
当該年度残高	- 万円	- 万円	4億4,886万円	7億5,010万円	7億7,248万円

※平成30年度に果実運用基金であった「学校教育振興基金」、「生涯学習振興基金」、「文化振興基金」、「スポーツ振興基金」の4基金を新たな積立基金「こども未来創造基金」へと積み替えました。

## 17\_森林環境譲与税基金

(担当：財政課)

令和2年度は、計画的な森林の整備や人材の育成・確保などの施策の財源として2,130万円を取崩し、充当しました。

また、森林環境譲与税3,744万円と基金運用益5万円の合計額3,749万円を基金に積み立てました。

### <基金残高の推移>

	H28	H29	H30	R1	R2
前年度末残高	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	1,726万円
当該年度積立額	- 万円	- 万円	- 万円	1,762万円	3,749万円
当該年度取崩額	- 万円	- 万円	- 万円	36万円	2,130万円
当該年度残高	- 万円	- 万円	- 万円	1,726万円	3,345万円

## 18\_新型コロナウイルス感染症対策基金

(担当：財政課)

新型コロナウイルス感染症に対する感染拡大防止、地域経済及び市民生活の維持等に必要な施策を実施していくため、令和2年度に本基金を創設しました。決算剰余金4億円と寄附金等813万円の合計4億813万円を積み立てました。

<基金残高の推移>

	H28	H29	H30	R1	R2
前年度末残高	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円
当該年度積立額	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	4億 813万円
当該年度取崩額	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円
当該年度残高	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	4億 813万円

## 19\_国民健康保険事業財政調整基金

(担当：健康課)

令和2年度は、決算剰余金等1,654万円と基金の運用によって得られた収益219万円の合計1,873万円を積み立てました。

<基金残高の推移>

	H28	H29	H30	R1	R2
前年度末残高	7億 760万円	6億1,274万円	7億1,920万円	8億8,726万円	7億9,168万円
当該年度積立額	380万円	1億 647万円	1億6,806万円	245万円	1,873万円
当該年度取崩額	9,866万円	- 万円	- 万円	9,803万円	- 万円
当該年度残高	6億1,274万円	7億1,920万円	8億8,726万円	7億9,168万円	8億1,041万円

## 20\_訪問看護事業財政調整基金

(担当：医療課)

令和2年度は、財源不足に対応するために3,000万円を取り崩しました。  
また、基金の運用によって得られた収益32万円を積み立てました。

<基金残高の推移>

	H28	H29	H30	R1	R2
前年度末残高	1億5,760万円	1億 844万円	1億 886万円	8,825万円	2億2,449万円
当該年度積立額	84万円	42万円	39万円	1億5,024万円	32万円
当該年度取崩額	5,000万円	- 万円	2,100万円	1,400万円	3,000万円
当該年度残高	1億 844万円	1億 886万円	8,825万円	2億2,449万円	1億9,481万円

## 21\_奨学基金

(担当：教育総務課)

令和2年度は、2,028万円の貸し付けを行ったほか、基金の運用から得られた収益1万円を積み立てました。

### <基金残高の推移>

		H28	H29	H30	R1	R2
前年度末残高	現金	6,719万円	7,806万円	8,944万円	9,348万円	9,550万円
	貸付金	1億2,376万円	1億1,378万円	1億 283万円	9,895万円	9,706万円
当該年度中の増	現金	2,962万円	3,066万円	2,276万円	2,086万円	2,237万円
	貸付金	1,875万円	1,928万円	1,872万円	1,884万円	2,028万円
当該年度中の減	現金	1,875万円	1,928万円	1,872万円	1,884万円	2,028万円
	貸付金	2,873万円	3,023万円	2,260万円	2,073万円	2,236万円
当該年度残高	現金	7,806万円	8,944万円	9,348万円	9,550万円	9,759万円
	貸付金	1億1,378万円	1億 283万円	9,895万円	9,706万円	9,498万円

## 22\_土地開発基金

(担当：財政課)

令和2年度は、基金の運用によって得られた収益28万円を基金に積み立てました。

### <基金残高の推移>

		H28	H29	H30	R1	R2
前年度末残高	現金	7億 780万円	9億3,310万円	9億5,610万円	9億5,652万円	10億 225万円
	土地	6億8,065万円	4億5,695万円	4億3,430万円	3億4,223万円	2億9,662万円
当該年度中の増	現金	2億2,530万円	2,300万円	42万円	4,573万円	28万円
	土地	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円
当該年度中の減	現金	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円
	土地	2億2,370万円	2,265万円	9,208万円	4,561万円	- 万円
当該年度残高	現金	9億3,310万円	9億5,610万円	9億5,652万円	10億 225万円	10億 253万円
	土地	4億5,695万円	4億3,430万円	3億4,223万円	2億9,662万円	2億9,662万円

## 23\_美術品取得基金

(担当：福光美術館)

令和2年度は、基金の運用から得られた収益（199円）を積み立てました。

### <基金残高の推移>

		H28	H29	H30	R1	R2
前年度末残高	現金	515万円	1,986万円	1,986万円	1,986万円	1,986万円
	美術品	4,894万円	3,424万円	3,424万円	3,424万円	3,424万円
当該年度中の増	現金	1,670万円	0万円	0万円	0万円	0万円
	美術品	200万円	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円
当該年度中の減	現金	200万円	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円
	美術品	1,670万円	- 万円	- 万円	- 万円	- 万円
当該年度残高	現金	1,986万円	1,986万円	1,986万円	1,986万円	1,986万円
	美術品	3,424万円	3,424万円	3,424万円	3,424万円	3,424万円

### 3. 定額運用基金の状況

#### 1. 奨学基金

##### 《貸付金と貸与者数の状況》

区分	令和元年度末 貸与者数	令和元年度末 現在高（貸付残高）	令和2年度		令和2年度末 貸与者数	令和2年度末 現在高（貸付残高）
			貸付	返済		
10,000円/月	0人	/	/	/	0人	/
30,000円/月	2人				2人	
35,000円/月	44人				48人	
計	46人	9,706万円	2,028万円	2,236万円	50人	9,498万円

##### 《基金現金の状況》

区分	令和元年度末 現在高	令和2年度		令和2年度末 現在高
		増	減	
現金	9,550万円	2,237万円	2,028万円	9,759万円

#### 南砺市奨学金貸与制度の概要

##### 1. 奨学資金の目的

有用な人財の育成を図るため、優れた資質があるにも関わらず、授業料等の支払いが困難な学生に対して、奨学資金を貸与しています。

##### 2. 資金の貸与を受けられることができる方

次の全てに該当する必要があります。

- (1) 保護者が市内に住所を有していること。
- (2) 健康かつ品行方正であって、学業成績が優秀であること。
- (3) 授業料等の支払いが困難であること。
- (4) 学校教育法に規定する高等学校、高等専門学校、専修学校、短期大学又は大学（大学院を除く。）に在学する方であること。
- (5) 在学した学校長又は現に在学する学校長の推薦があること。

##### 3. 貸与の額

- 高等学校・高等専門学校（自宅）・・・月額10,000円以内
- 高等学校・高等専門学校（自宅外）・・・月額30,000円以内
- 専修学校（専門）・短期大学・大学・・・月額35,000円以内

##### 4. 貸与期間、返済期間

正規の修学期間が終了する月まで貸与します。また、卒業した月の翌月から7年以内（1年据置）に返済していただくことになります。（貸与資金の返済に利息はつきません。）

##### 5. 選考基準

資金の貸与を受けようとする方は、学力及び家計の両方の基準を満たす必要がありますが、家計の基準が優先されます。

###### (1) 学力基準

- ① 新入生は、出身校の在学期間の全履修教科の平均値（評定平均値）が3.5以上。2年生以上は、入学から前年度までの全履修教科の平均値とします。
- ② 3.0以上3.5未満であっても、家族構成、家庭事情、本人の学業意欲、人物所見によって考慮します。

###### (2) 家計基準

貸与を受けようとする方の世帯人数に応じた収入基準をもとに算定されます。  
詳細については、教育総務課までお気軽にお問い合わせください。

問合せ先：南砺市 教育部 教育総務課

〒932-1692 南砺市荒木1550番地

TEL：0763-23-2012 FAX：0763-52-6350

## 2. 土地開発基金

### ≪土地面積の状況≫

(単位：㎡)

区分	令和元年度末 現在高	令和2年度		令和2年度末 現在高
		増	減	
宅地	20,108.68	-	-	20,108.68
田畑	3,187.86	-	-	3,187.86
山林	-	-	-	-
その他（雑種地等）	-	-	-	-
合計	23,296.54	0.00	0.00	23,296.54

### ≪簿価（土地価格）の状況≫

(単位：円)

区分	令和元年度末 現在高	令和2年度		令和2年度末 現在高
		増	減	
宅地	268,255,279	-	-	268,255,279
田畑	28,366,677	-	-	28,366,677
山林	-	-	-	-
その他（雑種地等）	-	-	-	-
土地 計	296,621,956	0.00	0.00	296,621,956
現金預金 計	1,002,248,640	281,892	0.00	1,002,530,532
合計	1,298,870,596	281,892	0.00	1,299,152,488

3. 美術品取得基金  
 ≪美術品の状況≫

(単位：点、円)

作品タイトル	数量	作者名	分類	形状	取得年月日	取得価格	備考
櫻井之駅 楠父子誠忠	1	山本 光一	日本画	軸装	H16.8.4	315,000	軸先が陶器
栖霞品句板巻	1	棟方 志功	版画	製本	H16.8.4	700,000	
棟方志功日記他資料一括(日記3・資料6)	9	棟方 志功	資料		H17.8.9	1,260,000	
笥	2	石崎 光瑤	日本画	2曲1双屏風	H17.8.19	15,000,000	裏箔・第8回文展 褒状受賞
横臥裸婦図	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	315,000	21点セット購入 10,500,000円
裸婦三人	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	315,000	
裸婦群像	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	315,000	
裸婦座像(1)	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	315,000	
裸婦座像(2) 赤眼の裸婦図	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	840,000	
裸婦庭図	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	525,000	
裸婦座像(3)	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	525,000	
横臥図	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	157,500	
池畔図	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	210,000	
裸婦座像(4)	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	315,000	
立山遠望	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	157,500	
二人裸婦	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	420,000	
山間風景(1)	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	157,500	
立像裸婦達	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	1,260,000	
山間風景(2)	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	210,000	
桜樹	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	210,000	
赤松	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	420,000	
鯉魚図	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	420,000	
静物	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	420,000	
魚図	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	367,500	
裸婦立像図	1	棟方 志功	洋画	額装	H17.8.23	2,625,000	
双鶏	1	石崎 光瑤	日本画	軸装	H20.1.16	2,000,000	

(単位：点、円)

作品タイトル	数量	作者名	分類	形状	取得年月日	取得価格	備考
信州槍岳之図	1	石崎 光瑤	日本画	軸装	H20.1.16	315,000	
牡丹の柵	1	棟方 志功	版画	額装	H21.8.10	1,000,000	
貝族の柵	1	棟方 志功	版画	額装	H21.9.10	3,150,000	
合計	38					34,240,000	

「笥」 石崎 光瑤 作



(右隻).

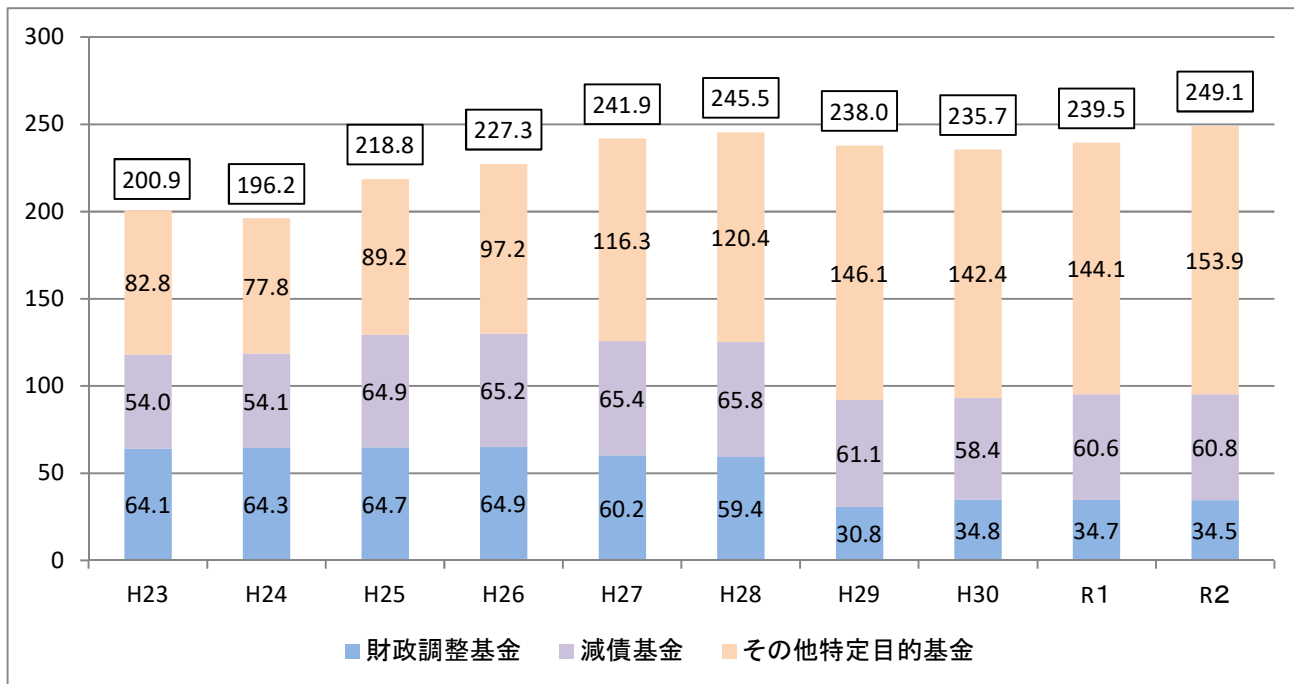


(左隻).

## 4. グラフで見る基金の推移（定額運用基金を除く）

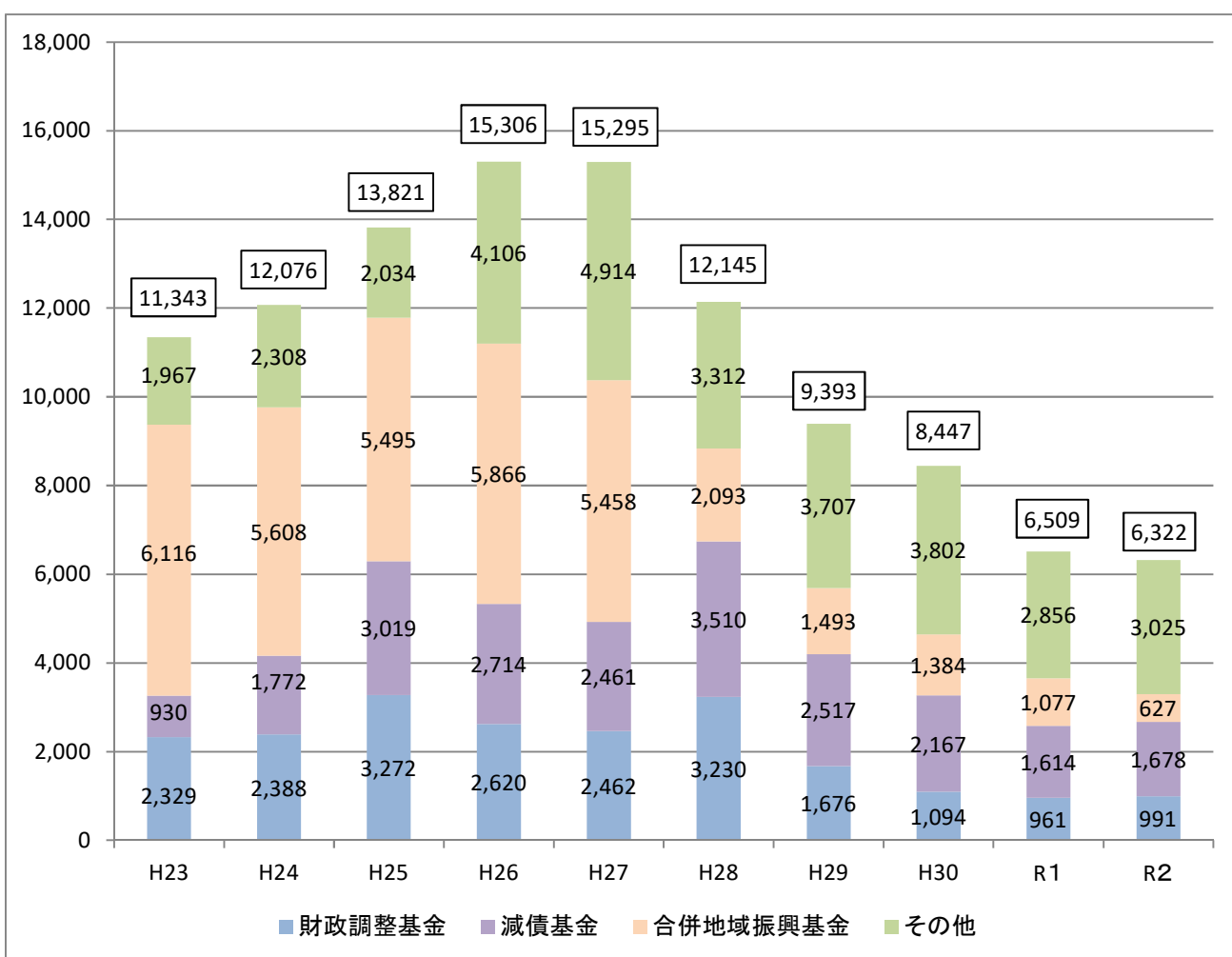
《年度末現在高》

（単位：億円）



《運用益の状況》

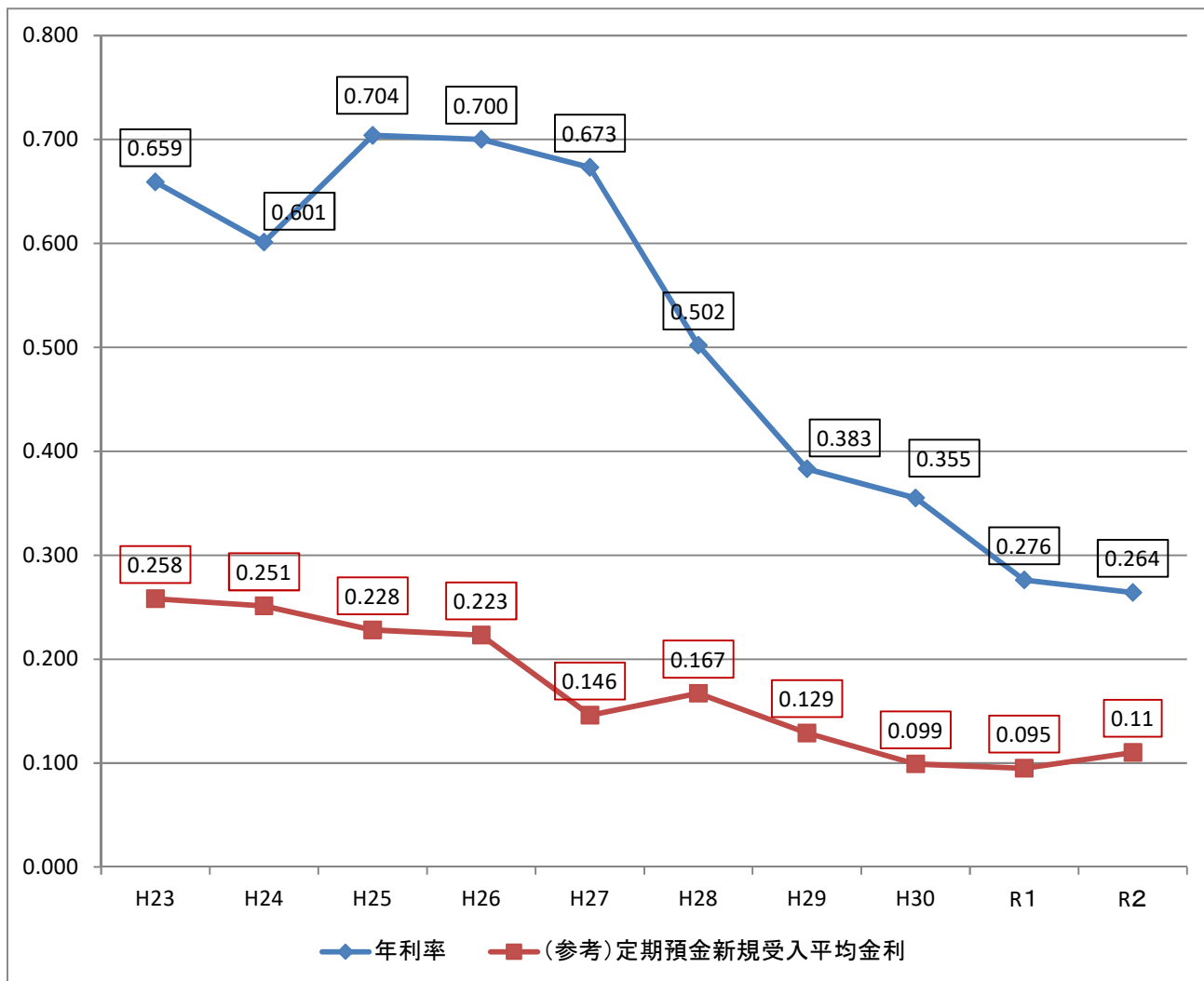
（単位：万円）





《年利率》

(単位：%)



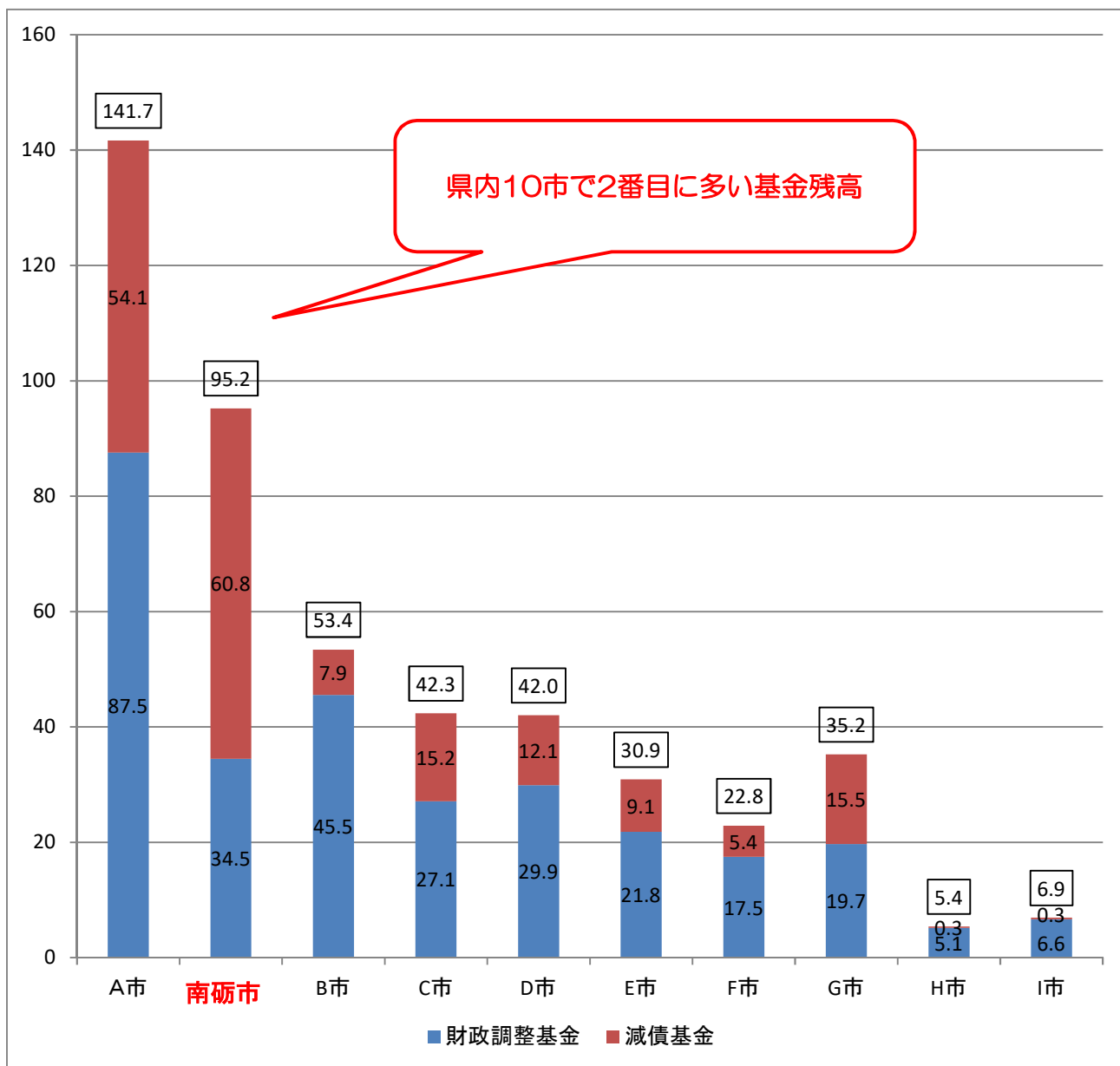
※1 年利率は、次の算式によって求めています。年利率＝n年度運用益総額÷(n-1)年度末基金残高×100

※2 「(参考)定期預金新規受入平均金利」は、日本銀行が公表している毎年3月における「定期預金新規受入平均金利(預入金額1千万円以上、預入期間3カ月以上6カ月未満)」の値を参考としています。

※3 平成28年度からは、基金の一括運用を行っており、基金の運用によって生じた収益は、1月1日現在の基金現在高に応じて、按分する取扱いとしています。

≪県内10市の財政調整基金及び減債基金現在高（令和2年度末）≫

（単位：億円）



出典：令和2年度地方財政状況調査

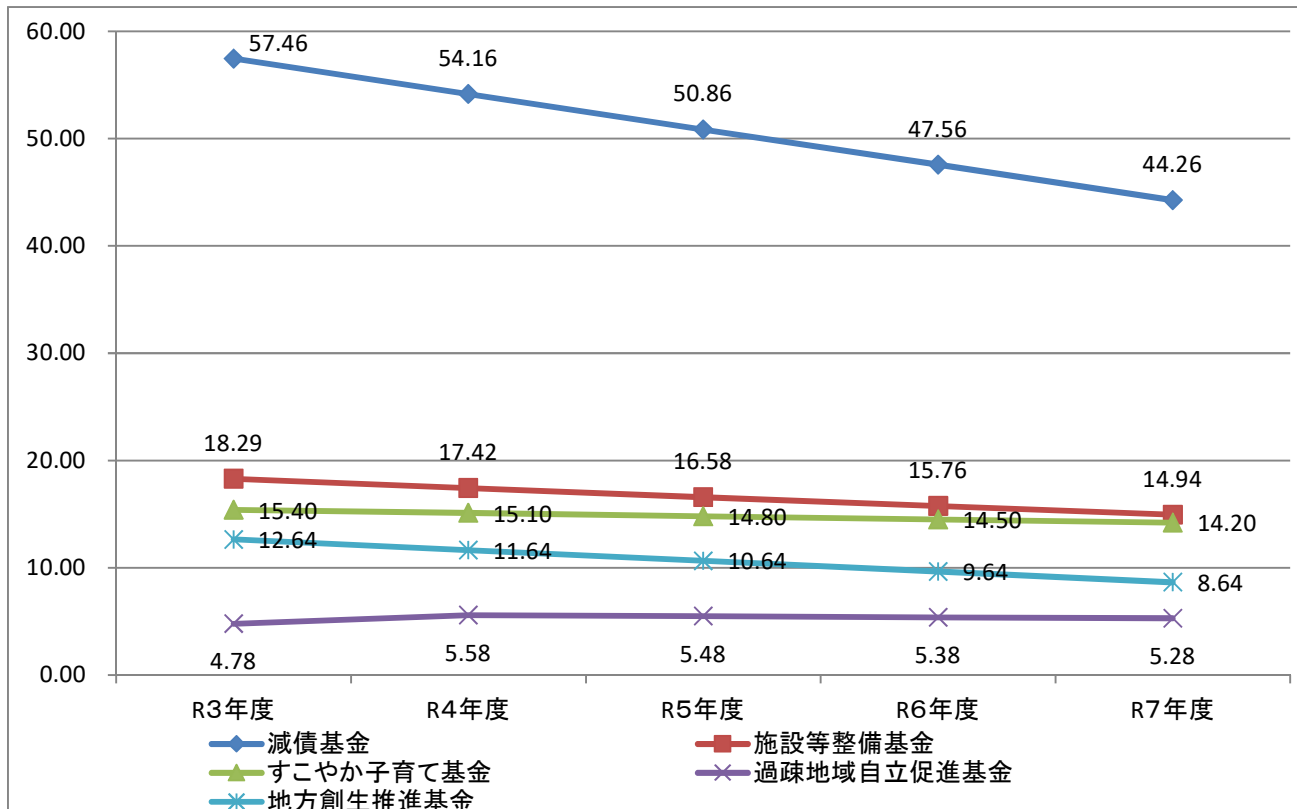
《今後の基金活用予定》

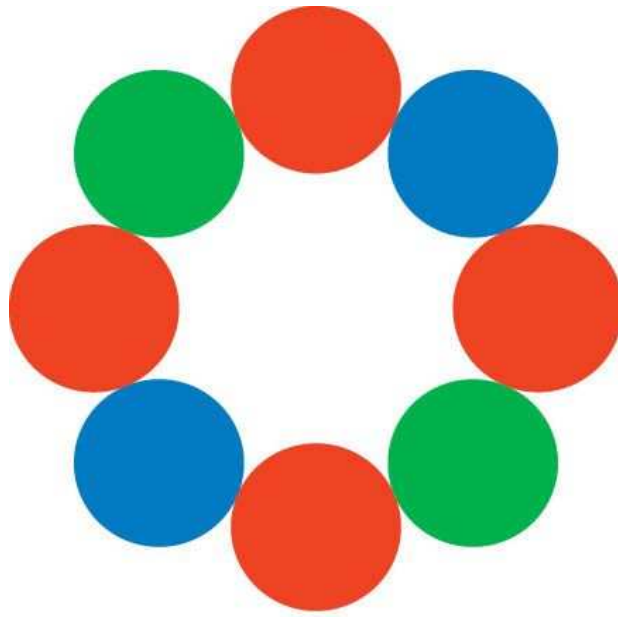
今後の財政見通しにおいては、歳入面においては人口減少に伴う個人住民税や普通交付税の減、歳出面においては扶助費及び公債費の増が見込まれ、これまで以上に厳しい財政状況となることが予見されます。そういった状況下においても、必要とされる行政サービスを継続的に提供するとともに、人口対策、地域経済の活性化対策といった重点施策を講じていくために、基金を計画的に活用していくこととしています。

以下は、主要基金の今後の活用予定を示したものです（基金残高は今後の財政状況などによって変動する可能性があります。）。

■基金残高の見込み

(単位：億円)





NANTO

【問合せ】

〒939-1692 富山県南砺市荒木1550  
南砺市役所 総務部 財政課

TEL 0763-23-2004

FAX 0763-52-6341